



令和2年度 市の決算と財政状況

各会計決算と主な取り組み

決算は9月6日から開催の市議会定例会で審議されています。
水道事業会計と下水道事業会計の令和2年度決算は9頁でお知らせします。

問い合わせ 財政課（市庁舎5階、 ☎ 65・4106）

一般会計の収支

令和2年度の決算額は、歳入が1031億7090万円、歳出が1016億3467万円、差引額が15億3623万円でした。（図1）

歳入の状況

歳入全体では約189億3000万円の増加となりました。令和元年度と比較して、国庫支出金などが増加した一方、道支出金などが減少しました。

歳出の状況

事業を活用した乳製品製造施設等の整備支援が終了したことなどにより、約18億円減少しました。

この差引額には、令和2年度中に事業が完了せず、令和3年度に繰り越した事業の財源2億6259万円も含まれています。これを除く実質的な黒字額は12億7364万円でした。（表）

また、道支出金は、産地パワーアップ事業を活用した長いも洗浄選別包装設備や、畜産クラスター

感染症対策に係る特別定額給付金の給付などにより約173億2000万円増加し、教育費は、学校改修や大空学園義務教育学校の整



※（ ）は前年比 ※歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

表 一般会計と特別会計の決算

会計区分	歳入	歳出	翌年度繰越事業財源	実質収支
一般会計	1031億7090万円	1016億3467万円	2億6259万円	12億7364万円
特別会計	国民健康保険会計	159億5397万円	157億5166万円	2億 231万円
	後期高齢者医療会計	25億8870万円	24億9393万円	9477万円
	介護保険会計	157億1186万円	152億2932万円	4億8254万円
	中島霊園事業会計	6131万円	6131万円	—
	ばんえい競馬会計	495億8044万円	492億2327万円	3億5717万円
	駐車場事業会計	8453万円	8453万円	—
	空港事業会計	24億2788万円	24億2788万円	—
合 計	1895億7959万円	1869億 657万円	2億6259万円	24億1043万円

図2 実質公債費比率の推移

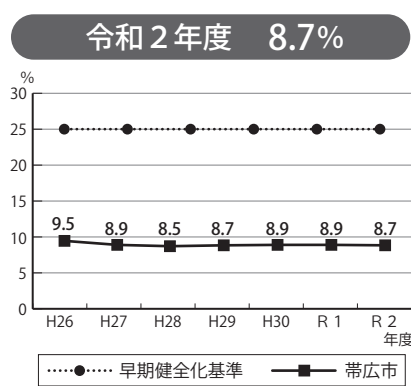
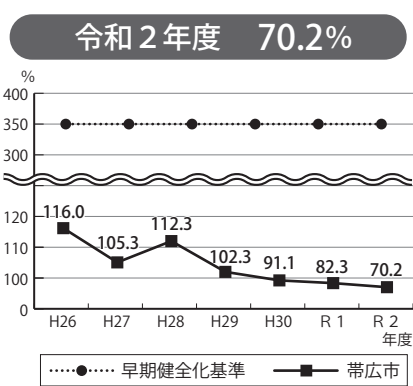


図3 将来負担比率の推移



備、児童生徒1人1台端末化などのGIGAスクール構想（5頁用語解説参照）の推進などにより約26億9000万円増加しました。

また、農林水産業費は、長いも洗浄選別包装設備や、乳製品製造施設等の整備支援が終了したことなどにより約23億2000万円減少しました。

特別会計の収支

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険会計や介護保険会計、ばんえい競馬会計など、全部で七つの特別会計があります。

特別会計は、利用者が負担する保険料や使用料などが主な財源であり、収入と支出の関係を明確にするため、一般会計と区分して経理を行っています。特別会計の決算額は、表のとおりです。

なお、空港事業会計は、空港運

営の民間委託に伴い、令和3年度から一般会計に移行しています。

帯広市の財政状況

自治体財政の健全化を示す指標として、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」の四つの健全化判断比率があります。

自治体全体の財政状況を明らかにするため、財政健全化法による四つの指標の公表が、各自治体に義務付けられています。

実質赤字比率と連結実質赤字比率

普通会計※1の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標が「実質赤字比率」です。これに、特別会計や企業会計も含めた指標が「連結実質赤字比率」です。いずれの指標も、令和2年度

は黒字決算のため、比率は算出されません。

実質公債費比率と将来負担比率

「実質公債費比率」は、一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準ずる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です（過去3カ年平均）。家計に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年収に占める割合になります。

「将来負担比率」は、一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の年収に占める割合になります。市の令和2年度の財政状況はいずれも早期健全化基準※2を下回っています。（図2・3）

これからの帯広市の財政

帯広市の財政は、健全化判断比率などから見て、健全な状態を維持しています。

しかしながら、人口減少・少子高齢化の進行に伴う市税収入の減少や社会保障費の増加のほか、公共施設の老朽化や新型コロナウイルス感染症への対応が必要などから、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。

こうしたことを踏まえ、限られた財源のなかで、事業の選択と集中を図りながら、「フードバレーとかち」をはじめとする各種施策の推進に取り組み、まちづくりを進めていきます。

※1 普通会計 全国の自治体の財政状況を比較するための会計基準。市では一般会計に中島霊園会計と空港事業会計を加えたもの。
※2 早期健全化基準 財政破綻を防止するために設けられた危険水準を表す。四つの健全化判断比率のうち一つでも基準値を上回ると、財政の健全化に取り組む必要がある。

令和2年度に実施した主な事業

令和2年度に実施した主な事業の一部を「第七期帯広市総合計画」の体系及び新型コロナウイルス感染症対策に分類して紹介します。

ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち

▷乳幼児に対するロタウイルス^{※3}ワクチンの定期接種化【1462万円】

▷歩数計アプリを活用した健康意識の向上（健康マイレージ事業）【93万円】

▷へき地保育所の認可化および民間移管【3億3974万円】

▷認定こども園または施設型給付幼稚園への移行などに対する施設給付【11億1674万円】

▷生活保護受給者に対する健康管理支援【45万円】

ーなど

活力とにぎわいと挑戦があるまち

▷農村地区の多面的機能保全向上に対する支援【2580万円】

▷てん菜の風害・湿害軽減技術の導入や豆類の省力栽培などに対する支援【2億8765万円】

▷森林環境譲与税を活用した森林整備の促進【666万円】

▷創業・起業支援の仕組みづくりの推進（十勝・イノベーション・エコシステム^{※4}）【3981万円】

▷「LAND^{※5}」の管理運営などによる事業創発の加速化【2399万円】

▷十勝の食の高付加価値化、新たな地産地消モデルの構築や大規模6次産業化の推進【794万円】

▷アイヌ伝統舞踊の観光コンテンツ化【246万円】

▷空港滑走路、灯火の改良工事など【15億5540万円】

ーなど



アイヌ伝統舞踊

ともに学び、輝く人を育むまち

▷「おびひろ市民学^{※6}」の実施【405万円】

▷学校トイレの洋式化など【1億6431万円】

▷大空学園義務教育学校の整備【7億7433万円】

▷学習環境のICT化推進のため、校内無線LANを整備【3億9314万円】

▷小中学校の各普通教室などに教材などを映し出す大型提示装置および実物投影機を設置【777万円】

▷中学校のパソコン教室の機器等更新に合わせ、一部の端末をタブレット型に更新【1082万円】

▷動物園のプロモーション動画の制作【75万円】

▷フードバレーとかちマラソンの開催（新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催）【460万円】

ーなど



動物園のプロモーション動画

安全・安心で快適に暮らせるまち

▷第3期耐震改修促進計画の策定に向けた調査など【187万円】

▷指定避難所の環境整備など地域防災力の強化【1億5423万円】

▷水槽付消防ポンプ自動車、はしご付消防自動車の更新【521万円】

▷火葬炉の改修など火葬場の長寿命化【8708万円】

▷西3条南9丁目周辺地区の市街地再開発事業に対する支援【8億4688万円】

▷公園施設の整備やバリアフリー化など【7161万円】

▷中島緑地の整備【1億2891万円】

▷公営住宅（大空団地3街区（空））の建設工事など【4億9652万円】

ーなど



はしご付消防自動車



大空団地3街区（空）1・2号棟

新型コロナウイルス感染症対策

●予防・感染防止策

▷感染症の影響により利用料金収入の減少が見込まれる指定管理者への支援【1億9211万円】

▷公共施設、学校、競馬場における衛生管理用品の購入【3313万円】

▷避難所の衛生管理用品および感染症対策に必要な物品の購入【4217万円】

▷児童保育施設などの衛生管理用品の購入などに対する支援【6646万円】

▷新型コロナウイルスワクチン接種に向けた体制整備【3220万円】

▷市内救急告示医療機関が行う職場環境整備などに対する支援【4500万円】

▷北海道の休業協力支援金への上乗せや市独自の支援【2億5760万円】

ーなど

●生活対策

▷特別定額給付金の支給【166億6830万円】

▷子育て世帯臨時特別給付金の支給【2億762万円】

▷ひとり親世帯臨時特別給付金の支給【3億4347万円】

●経済対策

▷セーフティネット資金の融資限度額や信用保証料補給対象融資額の拡大【6393万円】

▷航空需要の落ち込みなどによる着陸料の減に伴う空港事業会計繰出金の増【7696万円】

▷地域における消費喚起を促進するプレミアム付商品券の発行【5億2551万円】

▷宿泊施設の割引補助やツアー造成支援を通じた観光客の誘致【7139万円】

ーなど

●新しい生活様式への対応

▷公立保育所および児童保育センターの保育室などのエアコン整備【4545万円】

▷小中学校の保健室のエアコン整備【5519万円】

▷小中学校、南商業高校における感染症対策の徹底および子どもたちの学びの保障のための環境整備【1億1132万円】

▷児童生徒1人1台端末化などのGIGAスクール構想^{※7}の推進【6億5803万円】

▷図書館における電子書籍およびタブレット端末などの導入、Wi-Fi環境の整備【3074万円】



おびひろプレミアム商品券



避難所の衛生管理用品



電子書籍を活用したICT教育の実践

用語解説

※3 ロタウイルス…腸からの水の吸収が阻害され、下痢症などを発症する原因となる病原体

※4 十勝・イノベーション・エコシステム…地域の創業・起業を目指す人材が、新しい仕事づくりに挑戦するための持続的な仕組み

※5 LAND…創業・起業・事業創発を目指す地域の人材が、情報交換や勉強会を行うことができるまちなかの拠点施設

※6 おびひろ市民学…帯広市の自然環境、歴史、伝統、文化、産業、地域住民との関わりを通して「ふるさと帯広」に対する誇りと愛着を育み、地域づくりに関わる子どもを育てる全小中学校の児童生徒を対象とした教育プログラム

※7 GIGAスクール構想…児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想